

令和 3年 3月 4日

狭山市教育委員会
教育長 向野 康雄 様

狭山市立 人間野中 学校
校長 和田 雅士 印

令和3年度 狭山市立 人間野中 学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1) 学びあう力、読解力の向上	(2) 他人に寛容な心の育成	(3) ICT活用スキルの向上
(4) 無言清掃の充実	(5) 積極的な生徒指導	(6) 教職員の主体的な業務

2 本年度の経営方針

「生徒の知性、品性、感性を磨く学校づくり」を経営方針として、場を読む力、柔軟性、行動力を備えた「気遣いのできる生徒」の育成を目指す。そのために教職員が常に主体的に考え学校経営の参画者である自覚を高め、行動していく。

3 自己評価結果

【評価の目安】A:よくできている(90%) B:概ねできている(85%以上) C:あまりできていない(70%以上) D:できていない(70%未満)

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 学校教育 教育目標	1	共通理解が図られ、実現の努力がなされたか。	A	・保護者に直接経営方針を話す機会を意図的につくり、増やしていく。
	2	保護者への浸透が図られたか。	B	
	3	経営方針について共通理解が図られ実現の努力が図られたか。	A	
2 校務 分掌	4	分掌の内容や責任が明確であったか。	A	・PCの活用などを通して、分掌間の横の連携を強化する工夫改善をする。
	5	分掌が活発に機能し各分掌の連携が図られたか。	B	
	6	各分掌の組織が合理的に編成されているか。	A	
3 教育 計画	7	学校教育目標や経営方針を具体化するために編制されたか。	A	・保護者や地域の学校運営の参画について顕著な変容が見られるように研究を進め、具体的に少しずつ改善策を講じる。
	8	年間授業日数が適切に配当されていたか。	A	
	9	授業日数の確保の努力が十分なされたか。	A	
	10	開かれた学校づくりに努力がなされたか。	B	
	11	教員が教育計画実施の担い手であるという自覚を持てたか。	A	
4 学年 学級 経営	12	時間割により十分な成果を得ることができたか	A	・学年や学級間で取組に差が出ないよう、他の学年、学級の実践や現状を相互に理解する機会を設ける。
	13	学校・学年・学級経営の方針に一貫性があったか。	B	
	14	意図的、計画的に学年、学級経営が進められたか。	A	
	15	児童生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	A	
	16	教室環境の整備に努力がなされたか。	A	
	17	朝の会、給食、清掃、帰りの会などに工夫改善が加えられたか。	A	
5 学習 指導	18	朝の読書への取り組みがしっかりなされたか。	A	・生徒が学習面で「伸びた」と実感できる評価の方法や形を研究し、改善していくとともに、新しい学習指導要領に基づいた評価評定のシステムを確立する。
	19	児童生徒が進んで学ぶ授業の改善がなされたか。	A	
	20	基礎的・基本的内容を身につけさせるような工夫改善がなされたか。	A	
	21	児童生徒の長所を伸ばす評価の工夫がなされたか。	B	
	22	視聴覚・情報機器の積極的、効果的な活用がなされたか。	A	
6 道徳 教育	25	全体計画を理解し、全教育活動をとらして道徳教育の実践がなされたか。	B	・学校全体で本校生徒の実態を分析し方向性を見つけていく。
	26	道徳の時間が生徒の実態把握に基づき、計画的に実践されたか。	A	
7 特別 活動	27	全体計画を理解し、生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	A	・学級話し合い活動についての進め方について共通認識を図りたい。
	28	全体計画が、生徒の実態把握に基づき、計画的に実施されたか。	B	
	29	児童生徒会活動などの特性が理解され、児童生徒の自己実現がなされたか。	A	
	30	奉仕活動の活発化が図られたか。	B	

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
8 学校 行事	31	学校行事が計画的に実施されたか。	A	・一部職員に負担が過ぎないように組織を見直す。
	32	学校行事の特性を生かし、生徒の自己実現が図られたか。	A	
	33	職員の仕事分担が適切であり、お互いに協力がなされたか。	B	
9 生徒 指導	34	全体計画に基づき、計画的な指導がなされたか。	A	・月ごとの行動目標、生活目標等は明示されているので、その達成度を生徒自身が評価し、生徒相互に啓発するような取組を実践していく。 ・不登校の生徒がでないような環境づくりを研究し、具体的に取り組んでいきたい。
	35	職員に共通理解があったか。	B	
	36	カウンセリングマインドを心がけて指導がなされたか。	A	
	37	教育相談活動が計画的に実施されたか。	A	
	38	基本的生活習慣が定着するよう指導がなされたか。	B	
	39	児童生徒が意欲的に清掃活動を行うよう指導がなされたか。	A	
	40	いじめや不登校の指導が積極的になされたか。	A	
	41	不登校生徒が出ないよう努力がなされたか。	C	
10 進路 指導	42	家庭、地域、諸機関との連携が密に行われたか。	B	・キャリア教育の視点に配慮した指導計画を立てていく。
	43	全体計画に基づき、計画的な指導が行われたか。	B	
	44	児童生徒が自己の生き方について考えることのできる授業や指導がなされたか。	B	
11 保健 ・ 安全 指導	45	家庭との連携が行われたか。	A	・前年度に引き続き、感染症対策には細心の注意と配慮を注ぎ、組織的に取り組んでいくとともに生徒自身が主体的に自己管理をする意識を啓発する取り組みを研究する。 ・施設の異常については迅速な対応をするよう、市当局とも連携を強
	46	保健観察が丁寧に行われたか。	A	
	47	児童生徒の危険な行動【予測されるものを含めて】に対して適切な指導がなされたか。	A	
	48	健康や体力向上に進んで取り組む指導がなされたか。	A	
	49	治療が必要な生徒に適切に治療勧告がなされたか。	A	
	50	事故に対する対応が適切になされたか。	A	
12 職員 会議	51	性に関する指導が共通理解のもとに行われたか。	A	・職員の学校経営への参画意識を高めるため、議題によってボトムアップの形式を導入していく。 ・効率化のため、会議の回数や時間を削減していく。
	52	給食指導が適切になされたか。	A	
	53	開始時刻が守られたか。	A	
	54	職員が問題意識を持って臨めたか。	A	
	55	議案の内容や提案の仕方が適切であったか。	B	
	56	建設的な意見が述べられ、よりよい会議の進行に協力的であったか。	B	
	57	会議の内容がよく理解され、決定されたことが責任持って実行できたか。	A	
	58	自己評価シートの内容が適切に進められたか。	B	
13 教職 員の 服務	59	教育公務員としての自覚を持ち公務員倫理のもとサービスの厳正に努めたか。	A	・定期的にチェックシートで職員の服務について振り返る機会をつくる。 ・出張や研修の報告が組織に有効に働く方法を検討していく。
	60	ゆとりを持った出勤がなされたか。	A	
	61	服装、言葉遣い、挨拶等は適切であったか。	B	
	62	出張や研修の報告が速やかに行われたか。	B	
	63	組織の一員としての自覚に基づき一人一人の責任が果たせたか。	A	
	64	健康維持増進のための努力がなされたか。	A	
14 校内 研修	65	研究主題が児童生徒・地域の実態や課題を踏まえた適切なものであったか。	B	・SDGsを学校の研修テーマとして組織的に取り組み、研修が実践に生きる内容にしている。 ・定期的にチェックシートで職員の服務について振り返る機会をつくる。
	66	研究組織や進め方は研究内容に応じて合理的・機能的であったか。	C	
	67	教職員が意欲的に取り組んでいたか。	A	
	68	研究の結果、児童生徒の変容が見られ、子供のためになったか。	B	
	69	研究内容が日々の指導の中に生かされ、教員にもしっかり身についたか。	B	
	70	研究の成果を次年度に生かす見通しができたか。	B	
15 施設 設備	71	施設設備が丁寧に正しく利用できたか。	A	・施設の見届けの徹底を図る。 ・生徒自身が自らの学びの環境整備を主体的に行う活動を計画していく。
	72	備品の所在数量使用方法などが明確に把握され、有効に利用されたか。	A	
	73	使用後は施設等が確実になされ、しっかり後始末ができたか。	B	
	74	掲示施設が有効に活用され、掲示教育が積極的になされたか。	A	
	75	環境整備に生徒も積極的に参加し、積極的な活動がなされたか。	B	
16 学校 事務	76	出勤簿は毎朝、押印されたか。	A	・定期的な校内監査体制を確立する。外部に出す文書の決裁については組織的な手続きを研究する。
	77	旅行命令簿はその都度、適切に記入されたか。	A	
	78	出席簿は毎日記入され、月ごとの集計は滞りなく行われたか。	B	
	79	文書は事前に校長に提出し、点検を受け、期限までに発送されたか。	B	
	80	現金の取り扱いは細心の注意が払われ、会計事務は適切に処理されたか。	A	
17 PTA 家庭 地域	81	家庭訪問・保護者会等は適切に計画され遂行されたか。	A	・コロナ禍でも保護者や地域に発信できる策を講じる。
	82	学年・学級便り等の発行は適切になされ、保護者への情報提供は適切であったか。	A	
	83	地域や家庭を積極的に理解するよう努力されたか。	B	
	84	積極的にPTAや地域の活動へ積極的に参加したか。	B	
18 部活動	85	部活動の指導は計画的に適切に行われたか。	B	・ガイドライン踏まえ、効率化を図る。
19 総 合	86	内容は生徒の興味をそそるものであったか。	A	・次年度は、学校全体で今日的課題であるSDGsに取り組む予定である。
	87	計画に沿って実施できたか。	A	
	88	図書室・コンピュータ室等の利用は計画的に適切に行われたか。	A	